

サロン あべの

〈サロン・あべの〉3月の出会い

平成16年3月20日(土)、〈サロン・あべの〉3月の出会いは、育徳コミュニケーションセンターを飛び出して、長居公園の植物園の隣にある「自然史博物館」の見学会です。

まず、長居障害者スポーツセンター1階エレベーター前で、1時

に集合。参加者が揃ったところで

見学先へと向かいました。途中、少し小雨が降っていましたが水溜りをよけながら、木々の柔らかい緑、道沿いの花々に春のささやきを感じながら到着しました。この日、「自然史博物館」では、常設

の展示だけではなく「大阪自然史フェスティバル2004」が開催

1階の常設展示室コーナーでは、

世界の昆虫や恐竜の化石などを見学しました。エレベーターで2階に上がるとクジラの骨格が立体的に天井いっぱい展示されています。動物や人間の骨格などで進

化した。館内を一通り見学した後、「大阪自然史フェスティバル2004」の会場へ向かいました。

大阪自然史 フェスティバル 2004



「大阪自然史フェスティバル2004」のポスター

ここで

は、関西を中心に活動している自然関連のサークル、地域、自然保護団体など、さまざまな団体81が出展し、そ



小雨降る長居植物園で

それぞれの活動を楽しめるように、展示や体験コーナーなどが設けられていて、大阪の自然の現状や、自然に関わる活動の楽しさが伝わってきます。

「へびがさわれます」と小学生がへびの入っている箱を持って会場を回っていました。これを気持ち悪そうに、遠巻きに見る人。かと思えば、サロンの参加者の中に

の手作りコー

はこのへびを「さわってきた」人がいました。

博物館ポーチに作られた特設屋外イベントコーナー

では、大阪千里山の竹を活用しているグループが鳩笛

の手作りコー

ナー。それに

竹炭展示販売。竹で作った御

輿をバックに、横笛の演奏に

合わせて、元気に阿波踊りを

踊る子どもたち。などなど、懐

かしく、楽しく、にぎやかなこ

と。また一方、屋内展示では

出典団体が展示で活動を紹介

しています。

「淀川水系イタセンバラ研究

会」はイタセンバラの生態、生

活史、現状・・・を。「大阪昆

虫同好会」は「トンボ池 つく

る・生かす・まもる」と題し

奥田真祐美
魅惑のシャンソン2004
～そよ風がはこぶ シャンソンの調べ～

日 時=5月23日(日) 午後3時
会場=森ノ宮ピロティホール
入 場 料=前売¥4800
当日¥5500
(全自由席)
特別ゲスト=さとう宗幸
谷崎美智子・松岡智子
演 奏=西川 真グループ
プログラム=クスノキのうた
二度とない人生だから
私の孤独
青葉城恋唄 他
チケット取扱・ご予約・お問合せ=
森ノ宮ピロティホール
TEL 06-6944-1151
.....
奥田真祐美音楽事務所
TEL・FAX 06-6692-8774

て・・・写真やVTRを使って

解りやすく説明していました。

屋外イベント、屋内展示、口頭

発表、いずれもみんな楽しみなが

ら学ぶところが盛りだくさんでし

た。

フェスティバル見学後、隣接の

「花と緑の自然の情報センター」

の中にある憩いの軽食喫茶コー

ナーでお茶しました。

「気分が優れないことがあって、

気晴らしにきました」

「ゆっくり出来ました」

「ストレス解消になりました」

「久しぶりに参加しました」

「床に描かれた市街地図を見な

がら、淀川の流れを辿るのが楽し

かった」など、参加者の自己紹介

や今回の感想などを聞きました。

あいにくの雨模様で、往復の足

元が気になっていましたが、帰

りは雨も止んで、ホッとして家路に

つきました。今回、自然界の中で

人間も生かされている事を実感し

た(サロン・あべの)3月の出会

いでした。参加者9名(山村貴司)

平成15年度<サロン・あべの>の活動と毎月の出会い

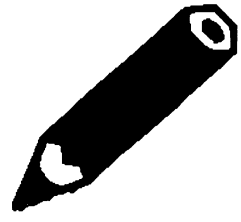
平成15年度活動テーマ *趣味と習いごと*

	会 場	毎 月 の 出 会 い	お 客 さ ま
平成15年 4月19日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	切手の魅力 —使用済み切手の行方—	宮崎隆正さん (まごころの集い社・切手部長)
5月17日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	座って出来る太極拳と 中国茶のひとつとき	太極拳：山田栄子さん (日本武術太極拳協会・公認指導員) 「車いす太極拳グループ」の方々 中国茶：呂育維さん(ACTU)
6月21日・土	大阪社会福祉研修・ 情報センター	大阪社会福祉研修・情報センター見学	
7月19日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	支援費制度について	柿久保浩史さん(自立支援セン ター OSAKA パーティパーティ)
8月 3日・日	市立工芸高校校庭	第30回あべのカーニバル「さろん亭」開店	
9月20日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	「AIKI(アイキ) DVD映画鑑賞会	
10月18日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	私がなぜ、写真に興味を持ったか	関市三さん(大阪市住之江区身体障 害者団体協議会・写真教室)
11月15日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	アジア初の車いすビリヤード JWBAの歩み	城谷たけおさん(JWBA創設者)
12月 6日・土	「トラットリア ベレッツァ」	お昼どき、サロン・あべのはイタリアン。	
平成16年 1月17日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	音と香りのハーモニー in サロン —新春 癒しの音楽会—	企画：福祉イベント夢企画「結」 演奏：アンダンテのみなさん アロマセラピー：山崎雅子さん(精英樹)
2月21日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	「ハリー・ポッターと秘密の部屋」DVD映画鑑賞会	
3月20日・土	長居公園・大阪市立 自然史博物館	大阪自然史フェスティバル2004「グループ展示と体験コーナー」見学	

●その他の活動

- 第4回「あべのエコ縁日」で、サロングッズ販売(H16年3月14日 阿倍野青年センターにて)
- 「地域の福祉環境を考える会」 毎月第1金曜日例会に参加
- <サロン・あべの>紙 毎月第3土曜日発行
- <サロン・あべの>紙 毎月音訳テープ作成(協力=音訳ボランティア・グループ「糸でんわ」)
- さろん文庫開設…毎週金曜日午後1-4時(阿倍野区在宅サービスセンター・ビューロー室)
- さろん文庫本、音訳テープ作成…音訳ボランティア・グループ「糸でんわ」
- 広報活動…アベノ・タウン紙、ボランティア情報誌「コンボ」、他区サロン紙
- 海外文通…アメリカ・Patti Trucky、イギリス・Margaret Bowler、韓国・馬泰植、
ドイツ・Brigitte Ehrenberg
- サロングッズ制作と販売…<サロン・あべの>10周年記念誌「はあとが、はろー!」、一筆箋、
絵はがき「花だより」「新・わがまち阿倍野」、阿倍野いろはがるたなど

3



邦子、 ..ん歳の手習い。

ハローパーク高齢者介護施設

カナダは移民の国で住民はそれぞれの母国の伝統、習慣、制度、文化を持ち込み、多様な文化的風土を形成しています。住民は英国系40%、フランス系27%で、イギリス系が主流であることから、社会福祉はイギリス北欧型に近いといえますが、実際的な具体的サービス、特に対人サービス提供においてはアメリカの影響を強く受けています。

今回のカナダ研修旅行では、ハローパークセンターという高齢者介護施設も見学しまし

た。ハローパークセンターは、1980年に設立されましたが、施設の上に高齢者アパートが併設されていました。4階建ての施設は介護の必要な老人を対象としており、入所者の平均年齢は87歳で、85%が痴呆症の老人です。費用は所得によって異なりますが、1日27.1ドル(約2200円)です。タワーと呼ばれる13階建ての高齢者アパートは、単独で生活できる老人が主です。2カ月の人から13年の人までいますが、2年から3年の入居者が多いということです。施設の入居者はほとんどが単身ですが、夫が施設で、妻がタワー入所というケースもあるということです。

ハローワークセンターは、街の中の高層マンションという感じで、便利な場所にあることなどもあり、300人のボランティアの登録があるということです。ボランティアの中には、エレベーターのボタンを押すボランティアを30年間続けている人もいますという事です。母親が、このセンターで亡くなった後、ボランティアとしてここを訪れる人や、ここで働いていた看護婦さんが定年後ボランティアとして援助しているなど動機は様々です。

サロンの

一筆箋

一冊一〇〇枚綴 一五〇円

私の夫は、「福祉施設における運営の社会の課題」(1983年)の中で、施設利用者の人権や自立、発達の保障のためには地域との連帯、交流と支援が必要条件であり、地域に開かれた福祉施設の社会化のためには、住民、ボランティアの組織化が前提条件的な課題であるとし、ボランティアの重要な役割について述べています。

ハローワークセンターは、利用者が家庭的な中で生活していくことを目標にしており、利用者の豊かな生活づくりにとって、ボラン

ティアの存在は重要であるといえます。ボランティアは、まず、ボランティアの部屋に立ち寄りボランティアのバッチを付けてそれぞれの役割を果たします。それぞれができることを無理なくボランティアとして援助している環境がすばらしいと感じました。このセンターでは、植物などの自然との、また動物とのふれあいを大切に、ハロウィンなどを利用した子どもとの交流も行っています。老人と子どもが自然に交流できるように、将来は保育所を併設するのが夢であると説明してくださった方はおっしゃっていました。

入居者のコミュニケーションを大切にしており、談話室が充実していました。食堂や談話室は、温かい雰囲気作りのために、木目調の色合いで統一しているということでした。交通事故後、約一年半の病院生活を体験した私の夫は、白基調の病室や病院の食堂を体験していたこともあり、前に訪れた北欧の施設内のレストランの豪華さに感激していたことをふと思い出しましたが、このように憩いの場所である食堂や談話室の細やかな心配りと家庭的な雰囲気が必要であると実感しました。

(定藤邦子)

私は昨年の11月から市内の障害者センターの自主訓練に参加している。

毎週水曜日の午前10時頃にヘルパーさんに付き添ってもらってセンターまで行く。

訓練室に入ると、早速、ナースのNさんが血圧を計ってくれる。余程のことがない限り130～80台で安定している。

そのあとOTの先生とヘルパーさんの二人で私を車いすから降ろしてマットの上に寝かせてくれる。そしてしばらくM先生が私の身体をゆっくりと右に向け、今度は左に向けてくれる。それを10回ぐらい繰り返すと、木の人形のように堅くなっていた手足が徐々にほぐれ、動きやすくなっていくのである。そうすると当然のようにすっきりした気分になる。手は握力がかなり弱っている

るので、小麦粉の入った風船を何回も握ったり、氷のように冷たくなった足をあたためるために脚湯きやくとう(足湯)をしてもらったりしている。

私の他に10人程がそれぞれ自分に適した訓練に励んでいるが、どの人も少しでも良くなりたいとの意気込みがこちらにもひしひしと伝わってくる。

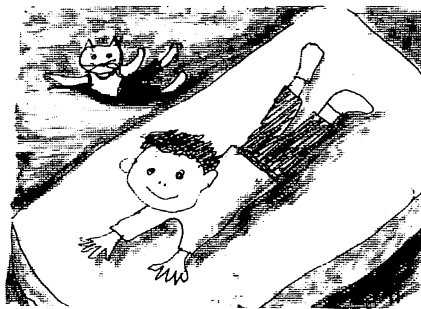
M先生はクラシックがお好きなのでいつもいろんな音楽が流れている。音楽療法というものがあるので、音楽を聞きながら訓練をす

るといっそう効果があるかも知れない。いずれにしてもあくまで「自主訓練」なので、自分から積極的にやる気を起こさないとだめである。このことを常に念頭においてこれからも訓練に励みたいと思っている。

晴れのち晴れ 67

「自主訓練」に参加して

稲垣 恵雄



単色刷の人物像



最近、私には珍しく歴史小説を読んでいる。読んでいるうちに、文学小説との違いが目につくようになった。それは歴史小説では多くの人物が出てくるが、それぞれの描写はきわめて簡潔であることだ。憶病な人は憶病

に、勇敢な人は勇敢に、賢明な人は賢明に、愚かな人は愚かに描かれている。

実際の人物はもっと複雑だっただろう。歴史的な事件のなかでは憶病であった人も、別のところでは果敢な行動を見せていたかもしれない。愚かな人にも賢いところはあったはずである。しかし歴史小説では個々の人物について多くは語らない。あくまで歴史の流れのなかで、その人が果たした役割を浮き出させ、それに付随した形で性格描写がなされている。その結果として、ひとつ、あるいは複数の数えるほどの性格しかもたない単純な（あるいは単色刷の）人物像が現れる。

それは歴史小説の欠点ではない。その目的は歴史を描き出すことであって、そこに出てくる人物は歴史を構成する素材にすぎない。どんなに複雑な色合いの絵でも、それを描くための絵の具は純粹の赤であり、あるいは青でなければいけない。それと同じく歴史小説

好評のエッセイ

岡 知史著

知らされない
愛について

700円

ほんの少しの
神に近い部分

700円

では歴史の複雑な色合いを描くために、個々の人物の比較的単純な色を用いるのである。

そこまで考えて、ふと考えた。もし、私がこのような歴史小説で描かれたとしたら、どのように単純化、単色化された人物になるだろうか。

もちろん、私のような小さな人間は歴史小説の小さな素材にすらならないだろうが、もし「サロン・あべの」が小説になったなら、私もきつとそのなかで小さな脇役として登場

あべのエコ緑日

満開の桃の花が青空にくっきりと咲きほこる3月14日(日)、阿倍野区桃ヶ池公園内にある阿倍野青年センターで、「あべのエコ緑日」があべのエコ緑日実行委員会主催で開催されました。子どもたちが自然と共に生きていくための知恵や工夫が遊びながら体験できるコーナーが用意されていました。屋内では手遊びが出来る伝承遊びやクラフトコーナー、紙芝居や絵本の読み聞かせコーナー、また自分の顔写真を缶バッジにしてもらえるコーナーなど。屋外ではモンキーブリッジや自分で焼いて食べる「遊ぼうパン」コーナーなどがありました。子どもたちは各コーナーを巡りながら、日頃接することが少ない実体験をいろいろと楽しみました。また、付き添いの親や祖父母さんたちも昔懐かしい遊びに出会いました。＜サロン・あべの＞は、その一角で「サロングッズ」の販売をさせていただきました。(け)



あべのエコ緑日でサロングッズを販売

.....さきみみずさん

するはずだ。とすれば、私はどんな人物として描かれるのだろう。そして、どんな人物として描かれないと私は思っているのだろうか。

生きている私から考えれば、私自身はきわめて複雑な人間だ。それは誰にとつても同じことで、誰だつて自分自身から見れば自己は複雑である。醜い面もあるが、美しい面もある。愚かなところもあるが、賢いところもある。ただ、その人の生きてきた状況を「小説」にすれば、その複雑な人物も果たした役割に

よつて単色に塗りつぶされ、その全人生が五、六行で表現されてしまうかもしれないのである。

いや、なにも歴史小説などという途方もない例を出さなくても、私たちは一人ひとり、自分自身のいわば「歴史小説」を心の中に書きとめてきたはずである。実年世代の人たちが好んで書く自分史がその典型であるが、若者であつても、自分の小学校時代、中学時代の思い出を語ることができ。そこに出てくる友人や先生たちの描写は、特別に親しかつ

た人は別として、大多数はせいぜい五、六行で充分だろう。彼らもまた歴史小説に出てくる素材的な人物のように、単純化されて残っているにすぎない。

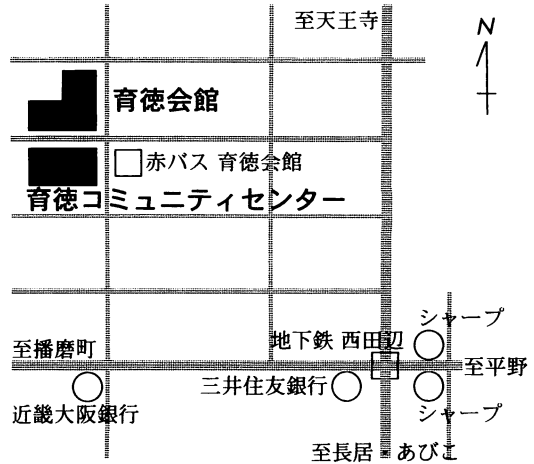
生き方の一つとして、自分自身がやがて不特定多数の人たちから、五、六行で描かれることを意識してみるのも良いだろう。人は誰でも、そのような数行で描かれる人物として人々の記憶に残る。それを忘れないでいることは、迷いの多い私たちの生きる指針にさえなるかもしれないのである。(知)

お知らせ

<サロン・あべの>5月の出会い

内容…夢の翼～下肢障害者と自動車～
 お客さま…上平幸雄さん
 日時…5月15日(土)午後1時～4時
 場所…育徳コミュニティセンター2階
 研修室(スロープ・車いすトイレ有)
 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
 TEL 06-6621-1901
 最寄り駅= 地下鉄御堂筋線「西田辺」
 赤バス「育徳会館」下車すぐ

会費…なし
 問い合わせ先…
 TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



美智子のこんな話

岸田美智子

「ニュースステーション」は
終わってたけれど・・・

18年間続いていた報道番組「ニュースス

久米宏さんの毒舌に近いコメントは、とても
 人気があったと思います。私もその久米
 宏さんの考え方や感じ方に魅力を感じて、
 時間の許す限り必ず観ていました。

「ニュース」が先月
 最終回を迎えたのは
 皆さんご存知でしょ
 うか。私は最終回の
 最後の部分しか観る
 事ができなかったの
 ですが、キャスター！

サロンの

絵はがき

5枚1組 ¥180

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力をお願いします。

でも、先日の障害

者の入所施設からの地域移行問題の取り上げ方には、私も問題を感じてしまいました。あまりにも親や家族の立場に立ち過ぎてしまい、障害者の当事者への立場がすっかり抜け落ちているように感じました。当事者の方が「奇声」をあげたり、自傷行為などがなぜ起こってしまうのか、少しでも少なくできる方法が私たちが社会の側にはないのか、などを探っていく視点がなかったように思われました。それは正に障害者と共に生きてきた経験が久米宏さんはじめ、この番組を作った人たちになかったからではないかと思

います。2月24日の放送を観られた方も多いと思いますが、どう思われましたか。

テレビ朝日に抗議

知障害者の地域移行報道で

手をつなぐ会
育成会

全日本手をつなぐ育成会（藤原治理理事長）は十日、テレビ朝日系列の報道番組「ニュースステーション」に対し、二月二十四日に放送した「国立コローのぞみの園」（群馬県）の利用者の地域移行策を巡る報道が「知的障害者の地域での当たり前の生活そのものが否定的に描かれている」など抗議し、再検証を求めるとの要請をした。

三〇四割を出身地域のグループホームなどに移行させるのぞみの園の方針と戸惑う保護者の姿を紹介。地域の受け皿不足を指摘し、地域移行策に疑問を投げかけた。

また、番組内では、利用者が教会で奇声を上げる様子なども紹介。久米宏キャスターが「小泉内閣の構造改革で国庫補助金の削減が進められているが、のぞみの園への税金の支出は無駄遣いと思えない」「今やるのはむちゃ」などとコメントした。

育成会では番組を見た会員から驚きと強力な対応を求める声が相次いだことから、三役会議を開き正式に抗議と要請を行うことを決めた。

番組内容について「知的障害者への偏見を助長し、『地域から排除する』という差別的な現状を肯定し、永続させることになりかねない。余りにも家族の苦勞が主張され、障害の『重さ』が強調され過ぎている」と抗議し、「最も考えるべきことは障害者の犠牲によって家族の『平和』が保たれてはいけないということ。今、本人の幸福と家族の安心がともに成立するシステムが実現しようとしている。今回の移行策はまさにそのような実践であり、古い時代の精算であることを理解してほしい」などと再

検証を求めた。抗議と要請を受け、テレビ朝日は、担当ディレクター名で十六日、同会に対し「指摘された点は真摯（しんしん）に受け止め、今後の取材の参考にしたいたい」と文書で回答した。

なお、番組内容については、放送直後に開かれた厚生労働省の障害者（児）の地域生活支援の在り方に関する検討会でも疑問の声が上げられた。

また、のぞみの園では番組を受け、「地域移行」家庭に返される」という保護者の誤解を取り除くため、家族への理解を図る取り組みを強化している。

3月22日付福祉新聞（Ⅱ右）に全日本手をつなぐ育成会が「ニュースステーション」に

MY DO〜まいど〜 岸田美智子

対し、抗議した記事が掲載されました。この記事を読んで、共に生活できる社会づくりを考えるきっかけにしてみてください。

〒558-0002 大阪市住吉区長居西1-9-12

自立生活支援センター

TEL 06-6609-3133 (キミハウス)

○自立生活支援センター

FAX 06-6609-3210

誰でも参加できる場所へ

第23回

久しぶりにお会いして

林 典生

ていないのです。

そのような中、2月15日(日)、大阪NP
Oプラザ(大阪市福島区吉野)において、園
芸療法研究会西日本の2004年度総会、記
念講演、研究・実践発表がありました。研究・
実践発表では、ディアレストの高岡歩代表は
じめ、メンバーの方々の発表がありました。

私は「介護型有料老人ホームサンセール香
里園での実践研究」というテーマで、ナシ畑
からハーブガーデンへと変貌していく中で、
土を作り、種を蒔き、育て、収穫し、食べ、
保存する・・・一連の園芸活動。あるいは四
季折々いろんな活動実践をしている様子など
を、写真をお見せしながら、話を進めていき
ました。

熱心に話を聞いてくださる参加者の中に、
ディアレストを訪問された方がいらっしゃっ
て、来られたときに見たツケナノ風景などが
写った発表の写真を見て、懐かしく思い出さ
れたようです。その方は、園芸療法研究会西
日本のニューズレターに、ハーブ類が冬越し
をして、良い庭になりそうであると、訪問時
の好印象を寄せておられます。

私なりに一生懸命、ディアレストのコミュニ
ティガーデンづくりの支援をして来たつもりで
すが、その支援がうまくいっていなかったの
ではないか、もつと他により効果的な方法があっ
たのではないかと、試行錯誤の連続です。

このように活動の種をまいて、育てていけれ
ば、自ずと実を結ぶのは分かっているのです
が、結構活動を進めるのは大変なことです。

どんな活動を行う場合でも、活動をどう
ネットワークを結び付けていくのか、活動の
運営をどうして行くのか、活動によって何が
得られたのか、課題は何であるのかを考え
て、実践していかないと活動を続けていくの
は難しいと思います。

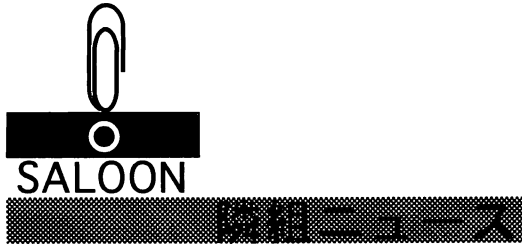
ありがとうございました。

カンパ、自作の本のご寄贈、サロングッズの
お買い求めなど、ありがとうございました。
(敬称略・順不同)

あべのエコ縁日、澤田妙子、並松由利子、
道川内喜美子、森下公子、山田誠、和田保子、
その他の方々。

私のコミュニティガーデン活動に関する拙
文をお読みいただいて、コミュニティガーデ
ンというものがあるという輪郭だけでもお分
かり頂けましたでしょうか。そして、一歩進
んで、コミュニティガーデン活動に興味を持
たれ、活動を試してみようと思われた方がい
らっしゃることを期待します。

ところで、私事ですが、環境保全のNPO
である環境改善緑化機構を、事務局長として
立ち上げることになり、いまはその申請書類
を大阪府に出すための準備や諸準備に追われ
ている状況で、私自身、今年になってからコ
ミュニティガーデンディアレストには訪問し



内 容：未定
場 所：にこにこセンター
 大阪市平野区平野東2-1-30
会 費：未定
問い合わせ先：ひらのボランティアルーム
 大西 ☎ 06-6795-2525

■「サロン淀川」5月の出会い

日 時：5月16日（日）午後1時30分～4時
内 容：春なのに芋煮会で一す
 山形の秋の風物詩芋煮会、今は春なのに
 大切なのは地域の交流なので一す。
場 所：やすらぎ
 大阪市淀川区三国本町2-14-3
会 費：なし
問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー
 ロー）☎ 06-6394-2900
 E-mail：sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にし」5月の出会い

日 時：5月8日（土）午後1時30分～4時
内 容：みんなで「車いす体験」をしよう！
場 所：西区在宅サービスセンター6階
 ボランティア・ビューロー室
 大阪市西区新町4-5-14（西区役所隣）
 地下鉄＝西長堀駅4-A号出口からすぐ
 市バス＝地下鉄西長堀駅からすぐ
 ☎ 06-6539-8075
会 費：なし
問い合わせ先：関口 ☎ 090-4281-5641

■「サロン・ひらの」5月の出会い

日 時：5月22日（土）午後1時30分～4時

■「サロン・にしよど」5月の出会い

日 時：5月22日（土）午後1時30～3時30
内 容：肌のお話 ～パット見、年齢が7歳若く
 見せられたら～
 ☆当日、シワ・たるみもお手入れを実演
 できるかも！？
場 所：西淀川区在宅サービスセンターふくふく
 大阪市西淀川口舟2-7-7
会 費：なし
問い合わせ先：中本 ☎ 090-9864-9678

■「ウイズ東淀川」5月の出会い

日 時：5月9日（日）午後1時30分～4時
内 容：口腔衛生と在宅治療
 ☆歯科検診の必要な方は検診も行いま
 す。（在宅高齢者・重度障害者に限る）
パネラー：田口憲一郎氏（訪問歯科支援センター
 「オーシン」第三事業所所長）
 石原博氏（歯科医師）
場 所：東淀川区民センター4階会議室
会 費：なし
問い合わせ先：森田真千子
 ☎・FAX 06-6340-8038

■「サロンいたみ」5月はお休みです

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第213号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第213号までそろっています。
- (b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧ロー二著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で

んわ音訳)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぱけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。

寄りみち



「キーキーキー」と甲高く鳴くもず。万葉集には「春さればもずの草ぐき見えずとも我れは見やらむ君があたりをば」と「秋の野の尾花が末に鳴くもずの声聞きけむか片聞け我妹」が登場します。武蔵の「枯木鳴鴉図」は有名。そして日本書紀の「仁徳陵築造の際、倒れた鹿の耳からもずが飛び去ったことから、その地を「百舌鳥耳原」とした」が由来で大阪の鳥に指定されたとか。自然史博物館でもずを見て、ふと。(石)

<サロン・あべの>VOL. 214 発行：平成16(2004)年4月17日 定価¥100
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>